

ALESIS

RECITAL

ユーザーガイド



安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://alesis.jp/>

ALESIS

<お問い合わせ>

カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

目次

ユーザーガイド	1
はじめに	1
同梱品	1
サポート	1
セットアップ	1
接続図	1
機能	2
トップパネル	2
リアパネル	2
底面パネル	3
クイックスタート	3
デモソングの再生	3
ボイスデモ再生	3
音色	3
レイヤーモード	4
スプリットモード	4
詳細設定	5
音色の音量の設定	6
MIDI チャンネルの設定	6
クリックトーンの設定	6
鍵盤の感度設定	7
トランスポーズ（移調）の設定	7
メトロノームの設定	8
リバーブの設定	9
コーラスの設定	9
ペダル・レゾナンスの設定	10
レッスンモードの設定	10
オートパワーオフ	11
工場出荷時へのリセット	11
トラブルシューティング	12
付録	13
仕様	13
商標およびライセンス	13

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

- ・ Recital 本体
- ・ 電源アダプター
- ・ 譜面台
- ・ ユーザーガイド
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

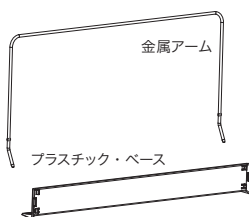
サポート

本製品の最新情報(システム要件、互換情報など)については、Alesis の製品ページをご覧ください (alesis.jp)。

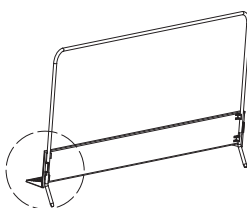
修理や操作方法につきましては、カスタマーサポート (alesis.jp/support/) にお問い合わせください。

セットアップ

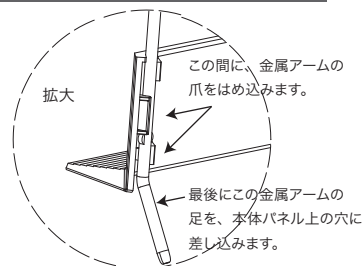
譜面台の組み立て：



ステップ 1



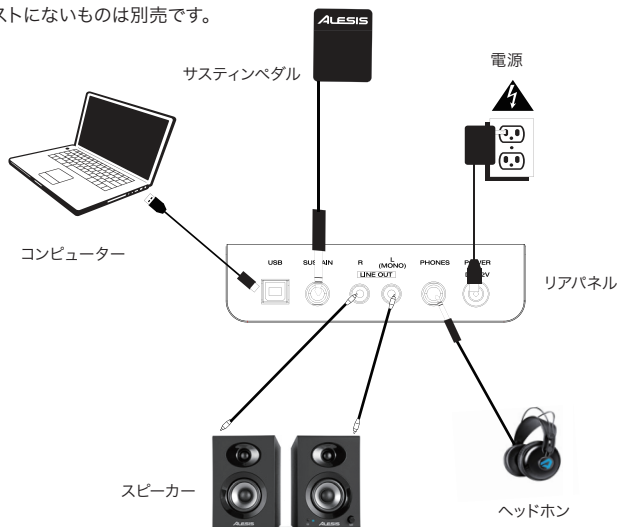
ステップ 2



金属アームの爪が、プラスチックのベースの下二つの爪の間に来るように、はめ込みます。

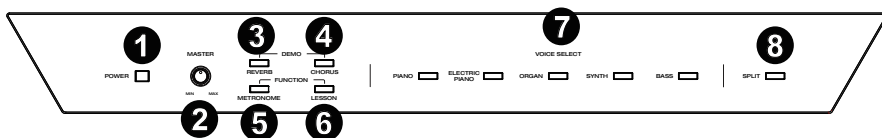
接続図

はじめに > 同梱品リストにないものは別売です。



機能

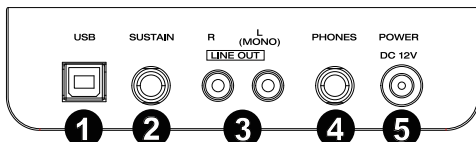
トップパネル



1. **POWER (パワー) スイッチ**：本体の電源のオン・オフを切り替えます。また、30 分間、操作しない時間が続くと自動的に本体の電源がオフになります。
2. **MASTER (マスター) ボリューム**：このノブで、内蔵スピーカー、および背面の LINE (ライン) 出力と PHONES (ヘッドホン) 出力の音量を調整します。
注意：もし内蔵スピーカーから音が出ない場合は、この MASTER (マスター) ボリュームノブが絞られていないか、またはヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていないか、確認してください。ヘッドホンが接続されていると内蔵スピーカーはミュート (消音) されます。
3. **REVERB (リバーブ) ボタン**：このボタンを押して、リバーブ効果のオン・オフを切り替えます。また CHORUS (コーラス) ボタンと同時に押すと、デモソングの再生が始まります。
4. **CHORUS (コーラス) ボタン**：このボタンを押して、コーラス効果のオン・オフを切り替えます。また REVERB (リバーブ) ボタンと同時に押すと、デモソングの再生が始まります。
5. **METRONOME (メトロノーム) ボタン**：このボタンを押して、メトロノーム機能のオン・オフを切り替えます。また LESSON (レッスン) ボタンと同時に押すと、詳細設定モードに入ります。
6. **LESSON (レッスン) ボタン**：このボタンを押して、レッスンモードのオン・オフを切り替えます。また METRONOME (メトロノーム) ボタンと同時に押すと、詳細設定モードに入ります。
7. **VOICE SELECT (ボイスセレクト) ボタン**：これらのボタンを押して、演奏する音色を切り替えます。
8. **SPLIT (スプリット) ボタン**：このボタンを押して、スプリットモードのオン・オフを切り替えます。

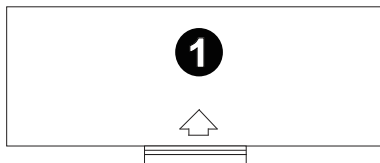
リアパネル

1. **USB 端子**：USB ケーブルを使用してコンピュータと接続し、MIDI データの送受信を行います。
2. **SUSTAIN (サスティン) ペダル 端子**：6.3mm 標準プラグのサスティンペダルを接続します。
3. **LINE (ライン) 出力端子**：外部のアンプやミキサー、レコーダーなどのオーディオ機器と接続します。モノラルで接続をする場合は、L 端子にケーブルを接続します。
4. **PHONES (ヘッドホン) 端子**：6.3mm 標準ステレオプラグのヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続すると、自動的に内蔵スピーカーはミュート (消音) されます。
5. **POWER (電源) 端子**：付属の電源アダプターを接続します。



底面パネル

1. **バッテリーボックス**：電源アダプターを使用せずに、乾電池で動作させる場合に、単一乾電池 6 本をここに設置します。



クイックスタート

デモソングの再生

RECITAL には 2 曲のデモソングが搭載されています。

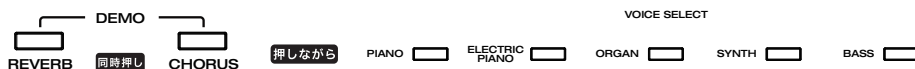
デモソングを再生するには：



1. **③REVERB** (リバーブ) ボタンと**④CHORUS** (コーラス) ボタンを同時に押すと、デモモードに入り、デモソングの演奏が始まります。デモソング演奏中はこの 2 つのボタンの LED が点滅します。
2. デモモードを抜けるには、もう一度**③REVERB** (リバーブ) ボタンと**④CHORUS** (コーラス) ボタンを同時に押します。

ボイスデモの再生

RECITAL の 5 つの音色 (ボイス) には、それぞれ特徴的なデモフレーズが収録されています。それらを再生するには、**③REVERB** (リバーブ) ボタンと**④CHORUS** (コーラス) ボタンを同時に押しながら、**⑦VOICE** (ボイス) ボタンのいずれかを押します。選択した音色 (ボイス) のデモフレーズが再生されます。



音色

1. **⑦VOICE** (ボイス) ボタンを押して目的の音色を選びます。選択された音色のボタンの LED が点灯します。
2. 選択可能な音色は以下の通りです。
 1. PIANO (ピアノ)
 2. ELECTRIC PIANO (エレクトリック・ピアノ)
 3. ORGAN (オルガン)
 4. SYNTH (シンセサイザー)
 5. BASS (ベース)

VOICE SELECT



レイヤーモード

レイヤーモードは、一つの鍵盤を押した場合に異なる 2 つの音色を同時に鳴らして、重厚でリッチなサウンドで演奏できる機能です。

レイヤーモードを有効にするには：

PIANO ☐ ELECTRIC PIANO ☐ ORGAN ☐ SYNTH ☐ BASS ☐

- まず、鳴らしたい音色の**⑦VOICE**（ボイス）ボタンを 1 つ押しながら、更に一緒に鳴らしたい音色の**⑦VOICE**（ボイス）ボタンを押して、同時に 2 つのボタンから指を離します。レイヤーモードが有効になり、選択された 2 つの音色のボタンの LED が点灯します。
- この状態で演奏することで、選ばれた 2 つの音色が同時に発音されます。

レイヤーモードから抜けるには、**⑦VOICE**（ボイス）ボタンのどれか 1 つを押します。

注意：最初に**⑦VOICE**（ボイス）ボタンを押して選んだ音色を「Upper（アッパー）」ボイス、2 つ目に選んだ音色を「Lower（ローワー）」ボイスと呼びます。

注意：「Upper（アッパー）」ボイスと「Lower（ローワー）」ボイスの音量の調整については、このユーザーガイドの「詳細設定 > 音色の音量の設定 (p.6)」の項目をご覧ください。

スプリットモード

スプリットモードは、RECITAL の 88 鍵盤を、任意の位置の鍵盤で上下 2 つの範囲に分けて、それぞれの範囲に別の音色を割り当てる機能です。例えば、右手で弾く範囲の鍵盤にピアノの音色を割り当て、左手で弾く範囲の鍵盤にベースの音色を割り当てる、ということが可能になります。スプリットモードが有効の場合、この左手で弾く範囲の鍵盤に割り当てた音色を「スプリットボイス」と呼びます。

スプリットモードを有効にするには：

- まず、右手で弾く範囲の鍵盤に割り当てる音色を、**⑦VOICE**（ボイス）ボタンを押して選びます。
- 次に、**⑧SPLIT**（スプリット）ボタンを押しながら**⑦VOICE**（ボイス）ボタンを押して、左手で弾く範囲の鍵盤に割り当てる「スプリットボイス」を選びます。これで、スプリットモードが有効になり、**SPLIT**（スプリット）ボタンが点灯します。SPLIT ☐ **押しながら** PIANO ☐ ELECTRIC PIANO ☐ ORGAN ☐ SYNTH ☐ BASS ☐
- この状態で両手で鍵盤を弾くと、右手と左手で別々の音色を演奏することができます。

スプリットモードから抜けるには、もう一度**⑧SPLIT**（スプリット）ボタンを押します。**SPLIT**（スプリット）ボタンが消灯し、スプリットモードがオフになります。

スプリットポイント（どの位置の鍵盤で、右手で弾く範囲と左手で弾く範囲に分けるのか）を設定するには、以下の操作を行います。

SPLIT ☐

- ⑧SPLIT**（スプリット）ボタンを押しながら、左右分割したい位置の鍵盤を押します。 **押しながら**
- ⑧SPLIT**（スプリット）ボタンから指を離します。

注意：スプリットモードとレイヤーモードを同時に使用する場合、右手で弾く範囲の鍵盤には、重ねた 2 つの音色が割り当てられますが、左手で弾く範囲の鍵盤には、スプリットモードで設定した「スプリットボイス」だけが割り当てられます。

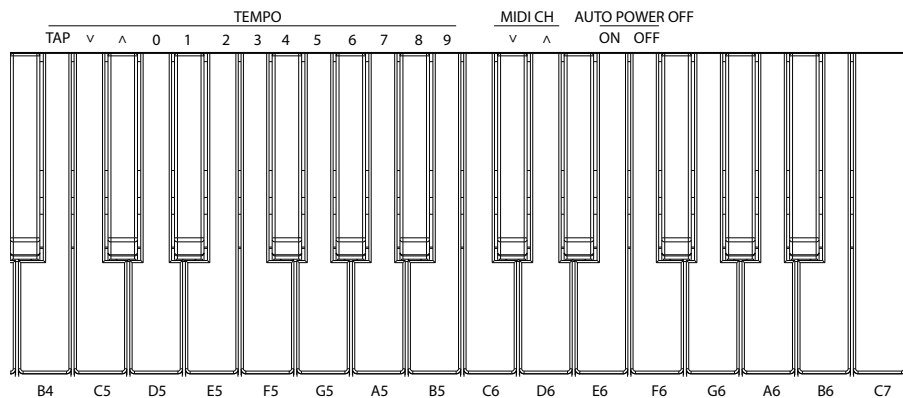
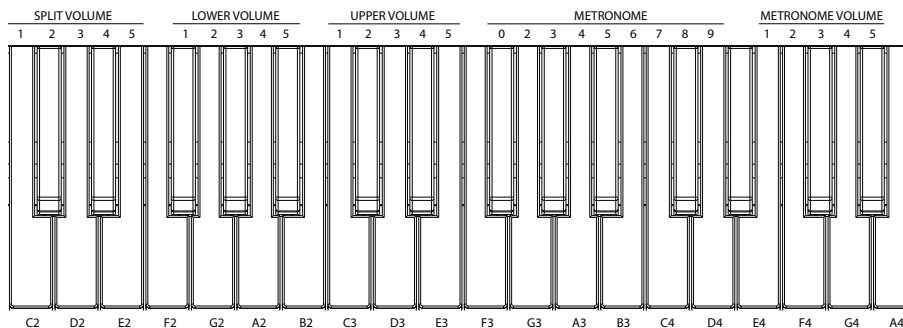
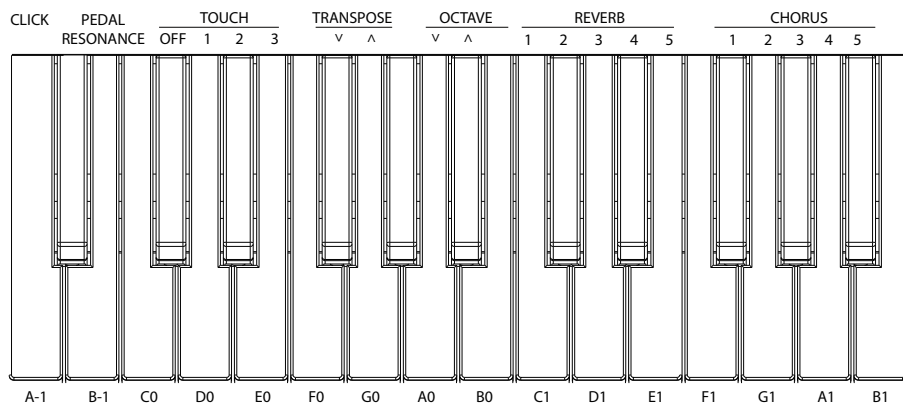
注意：左手で弾く範囲の鍵盤に割り当てた「スプリットボイス」の音量の調整については、このユーザーガイドの「詳細設定 > 音色の音量の設定 (p.6)」の項目をご覧ください。

詳細設定

⑥METRONOME（メトロノーム）ボタンと⑥LESSON（レッスン）ボタンを同時に押すことで、**詳細設定モード**に入り、次の図の、様々な機能名が印刷されている鍵盤を押すことで、RECITAL の各種設定を行うことができます。



「鍵盤機能図」



音色の音量の設定

詳細設定モードで、レイヤーモードやスプリットモードでの各音色の音量を設定することができます。

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**UPPER VOLUME 1~5**」と印刷された鍵盤 (**C3~E3**) を押すことで、レイヤーモードの「Upper (アッパー)」ボイスの音量を設定します。1~5 の順で音量が上がります。
3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

同様の手順で、「**LOWER VOLUME 1~5**」の鍵盤 (**F#2~A#2**) でレイヤーモードの「Lower (ローワー)」ボイスの音量を、「**SPLIT VOLUME 1~5**」の鍵盤 (**C2~E2**) で「スプリットボイス」の音量を、それぞれ設定します。

MIDIチャンネルの設定

詳細設定モードで、USB 端子から出力される MIDI 信号のチャンネルを設定することができます。

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**MIDI CH ^**」または「**MIDI CH v**」と印刷された鍵盤 (**C#6、D6**) を押して MIDI 出力チャンネルを 1~16 の範囲で設定します。これら 2 つの鍵盤を同時に押すと、初期値であるチャンネル **1** に戻ります。
注意： RECITAL は、スプリットモードやレイヤーモードが有効になっている場合でも、ここで設定した 1 つの MIDI チャンネルしか使用しません。
3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

クリックトーンの設定

詳細設定モードで、CLICK (クリック) トーンをオンにすると、RECITAL の設定やパラメーターを変更する操作を行ったときに操作音 (クリック音) が鳴るようになります。

CLICK (クリック) トーンのオン・オフを切り替えるには：

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**CLICK**」と印刷された鍵盤 (**A-1**) を押して、CLICK (クリック) トーンのオン・オフを切り替えます。
3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

鍵盤の感度設定

RECITAL は、実際のアコースティック・ピアノのように、鍵盤を弾く強さで音色の音量をコントロールしています。つまり鍵盤を強く弾けば、より大きい音が鳴るようになっています。詳細設定モードで鍵盤の感度設定を行うことで、この鍵盤を弾く強さと発音される音量のバランスを調整することができます。

鍵盤の感度設定を行うには：

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME(メトロノーム)ボタンとLESSON(レッスン)ボタンの2つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「TOUCH OFF-1～3」と印刷された鍵盤 (**C#0～E0**) を押すことで、鍵盤の感度設定を行います。

OFF - 鍵盤を弾く強さにかかわらず、一定の音量で発音します。鍵盤を弾く強さは無視され、音量には影響しません。

1 - 鍵盤の感度は弱く、大きい音を出すにはより強く鍵盤を弾く必要があります。この設定で演奏すると、全体にソフトな印象の演奏になります。

2 - 通常の感度です。

3 - 鍵盤の感度は強く、鍵盤を弾く力が弱くても大きい音を出せるようになります。この設定で演奏すると、全体にハードな印象の演奏になります。

3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

トランスポーズ(移調)の設定

この設定で、RECITAL の鍵盤を、半音ずつ最大 1 オクターブの範囲で上下にトランスポーズ (移調) することができます。

トランスポーズ (移調) の設定を行うには：

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME(メトロノーム)ボタンとLESSON(レッスン)ボタンの2つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「TRANSPOSE ^」または「TRANSPOSE v」と印刷された鍵盤 (**F#0、G0**) を押して半音ずつトランスポーズ (移調) の設定を行います。これら 2 つの鍵盤を同時に押すと、初期値である **0** に戻ります。
3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

メトロノームの設定

メトロノーム機能は、一定の間隔で音を刻み、演奏や練習の際にテンポのガイドとなります。**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンを押して、この機能のオン・オフを切り替えます。メトロノーム機能がオンの場合、**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンは現在のテンポに合わせて点滅します。メトロノームのテンポは、30～280 の範囲で自由に設定できます。

メトロノームのテンポを設定するには：

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**TEMPO ^**」または「**TEMPO v**」と印刷された鍵盤 (**C5**、**C#5**) を押してテンポを設定します。これら 2 つの鍵盤を同時に押すと、初期値である **120** に戻ります。
3. または、「鍵盤機能図 (p.5)」の「**TEMPO 0~9**」と印刷された鍵盤 (**D5~B5**) を使ってテンポを直接設定することもできます。テンポを設定するには、これらの鍵盤を 3 つ使用します。例えば、テンポ **120** を設定するには、「**TEMPO 1**」「**TEMPO 2**」「**TEMPO 0**」と順番に押します。また、テンポ **64** を設定するには、「**TEMPO 0**」「**TEMPO 6**」「**TEMPO 4**」と順番に押します。

あるいは、「鍵盤機能図 (p.5)」の「**TEMPO TAP**」と印刷された鍵盤 (**B4**) を目的のテンポで何度か続けて押す (タップする) と、そのテンポを自動的に検知して設定します。
4. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

メトロノームの拍子を設定するには：

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**METRONOME 0~9**」と印刷された鍵盤 (**F#3~D4**) を押して、拍子を設定します。**0** に設定すると、拍子の頭のアクセントがなくなります。
3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

メトロノームの音量を設定するには：

1. **⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**METRONOME VOLUME 1~5**」と印刷された鍵盤 (**E4~G#4**) を押して、メトロノームの音量を設定します。**1~5** の順で音量が上がります。
3. もう一度**⑤METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**⑥LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

リバーブの設定

RECITAL の音色に、リバーブ効果をつけることができます。

リバーブ効果を有効にするには：

1. **③REVERB**（リバーブ） ボタンを押して、リバーブ効果をオンにします。ボタンが点灯します。
2. もう一度**③REVERB**（リバーブ） ボタンを押すと、リバーブ効果はオフになります。

リバーブのタイプを変更するには：

1. **⑤METRONOME**（メトロノーム） ボタンと**⑥LESSON**（レッスン） ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME(メトロノーム)ボタンとLESSON(レッスン)ボタンの2つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**REVERB 1~5**」と印刷された鍵盤（**C1~E1**）を押すことで、リバーブのタイプを切り替えます。
 - 1 - ルーム（部屋をシミュレートしたリバーブ）
 - 2 - ホール（ホールをシミュレートしたリバーブ）
 - 3 - チャーチ（教会をシミュレートしたリバーブ）
 - 4 - ディレイ（ディレイ効果）
 - 5 - パン・ディレイ（パンニングを伴うディレイ効果）
3. もう一度**⑤METRONOME**（メトロノーム） ボタンと**⑥LESSON**（レッスン） ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

コーラスの設定

RECITAL の音色に、コーラス効果をつけることができます。

コーラス効果を有効にするには：

1. **④CHORUS**（コーラス） ボタンを押して、コーラス効果をオンにします。ボタンが点灯します。
2. もう一度**④CHORUS**（コーラス） ボタンを押すと、コーラス効果はオフになります。

コーラスのタイプを変更するには：

1. **⑤METRONOME**（メトロノーム） ボタンと**⑥LESSON**（レッスン） ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME(メトロノーム)ボタンとLESSON(レッスン)ボタンの2つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**CHORUS 1~5**」と印刷された鍵盤（**F#1~A#1**）を押すことで、リバーブのタイプを切り替えます。
 - 1 - コーラス 1
 - 2 - コーラス 2
 - 3 - コーラス 3

4 - フランジャー

5 - ロータリー (ロータリースピーカーのシミュレーション)

- もう一度**5METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**6LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

ペダル・レゾナンスの設定

RECITAL は、別売のサスティンペダルを使用して、グランドピアノのダンパー・レゾナンス (ダンパーペダルを踏んだ際の共鳴効果「すべての弦が開放され弾いた鍵盤の倍音となる弦がすべて共鳴する状態」) をシミュレートする「**PEDAL RESONANCE** (ペダル・レゾナンス)」機能を搭載しており、この機能のオン・オフを切り替えることができます。

ペダル・レゾナンス機能のオン・オフを切り替えるには：

- 5METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**6LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
- 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**PEDAL RESONANCE**」と印刷された鍵盤 (**B-1**) を押して、ペダル・レゾナンス機能のオン・オフを切り替えます。
- もう一度**5METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**6LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

注意：ペダル・レゾナンス機能がオンになっている場合は、コーラス効果は自動的に無効になります。

注意：演奏中にペダル・レゾナンス機能のオン・オフを切り替えると、出力されている音声が一瞬途切れることがあります。

レッスンモードの設定

レッスンモードでは、RECITAL の 88 鍵盤と同じ音程同じ音色で二つの範囲に分けて使用します。この機能は、先生と生徒が、ピアノの前に交互に座り直したりすることなく、左右に並んだまま、同じ音程同じ音色で演奏できるように考えられました。

注意：レッスンモードでは、レイヤーモードやスプリットモードは自動的に無効になります。

レッスンモードを有効にするには、**6LESSON** (レッスン) ボタンを押します。もう一度**6LESSON** (レッスン) ボタンを押すと、レッスンモードは無効になります。

レッスンモードで演奏する音色を選ぶには、**7VOICE** (ボイス) ボタンで選択します。

レッスンモードで、左右の鍵盤分割位置を変更するには、**8SPLIT** (スプリット) ボタンを押しながら、左右分割したい位置の鍵盤 (**C3~C6** の間) を押して、**8SPLIT** (スプリット) ボタンから指を離します。変更する前の初期状態での分割位置は、**E3** 鍵盤です。

レッスンモードで、左右両方の範囲のオクターブを変更するには：

- 5METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**6LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME (メトロノーム) ボタンと LESSON (レッスン) ボタンの 2 つが点灯します。
- 「鍵盤機能図 (p.5)」の「**OCTAVE ^**」または「**OCTAVE v**」と印刷された鍵盤 (**A0, A#0**) を押してオクターブを設定します。これら 2 つの鍵盤を同時に押すと、初期値である **0** に戻ります。
- もう一度**5METRONOME** (メトロノーム) ボタンと**6LESSON** (レッスン) ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

オートパワーオフ

出荷時の状態の RECITAL は、30 分間、操作しない時間が続くと自動的に本体の電源がオフになる「オートパワーオフ」機能が有効になっています。

オートパワーオフ機能のオン・オフを切り替えるには：

1. **⑤METRONOME**（メトロノーム）ボタンと**⑥LESSON**（レッスン）ボタンを同時に押して、詳細設定モードに入ります。METRONOME（メトロノーム）ボタンと LESSON（レッスン）ボタンの 2 つが点灯します。
2. 「鍵盤機能図（p.5）」の「**AUTO POWER OFF - ON**」または「**AUTO POWER OFF - OFF**」と印刷された鍵盤（**E6、F6**）を押してオートパワーオフ機能のオンまたはオフを選択します。
3. もう一度**⑤METRONOME**（メトロノーム）ボタンと**⑥LESSON**（レッスン）ボタンを同時に押して、詳細設定モードから抜けます。

工場出荷時へのリセット

RECITAL を工場出荷時の設定に戻すには、**③REVERB**（リバーブ）ボタンと**④CHORUS**（コーラス）ボタンを同時に押しながら、**①POWER** ボタンを押して電源を入れます。



以下のパラメーターが初期状態にリセットされます：

- Reverb（リバーブの設定）
- Chorus（コーラスの設定）
- Metronome Tempo（メトロノームのテンポ）
- Metronome Time Signature（メトロノームの拍子）
- Metronome Volume（メトロノームの音量）
- Upper Volume（レイヤーモードの Upper ボイスの音量）
- Lower Volume（レイヤーモードの Lower ボイスの音量）
- Split Volume（スプリットモードのスプリットボイスの音量）
- Split Point（スプリットモードのスプリットポイント）
- MIDI Channel（MIDI チャンネル）
- Touch Sensitivity（鍵盤の感度設定）
- Auto Power Off（オートパワーオフの設定）



トラブルシューティング

問題	解決策
本体の電源のオン・オフを切り替えると、内蔵スピーカーからポップ音が聞こえる。	これは正常な動作です。
演奏しても内蔵スピーカーから音が出ない。	MASTER（マスター）ボリュームノブが絞られていないか、またはヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていないか、確認してください。ヘッドホンが接続されていると内蔵スピーカーはミュート（消音）されます。
内蔵スピーカーからノイズが出る。	RECITAL の近くにスマートフォンを置いている場合に、干渉が起きてノイズが乗ることがあります。その場合は、スマートフォンの電源を切るか、RECITAL からなるべく遠ざけてください。
押した鍵盤と異なる音程の音が鳴る。	トランスポーズ（移調）の設定を 0 にしてください。もしそれでも改善されない場合は、REVERB（リバーブ）ボタンと CHORUS（コーラス）ボタンを同時に押しながら、本体の電源を入れて、本体のリセットを行ってください。
音が小さい、または歪んでいる。	もし乾電池で動作させている場合は、電池の電圧が落ちてきているかもしれません。新しい乾電池と交換してください。

付録

仕様

鍵盤：	88 鍵（ペロシティ対応セミウェイト鍵盤）
最大同時発音数：	128 音
内蔵音色：	5 音色（ピアノ、エレクトリック・ピアノ、オルガン、シンセサイザー、ベース）
デモ・ソング：	2 曲（ピアノ）、ボイスデモ 5 曲（各音色 1 フレーズ）
メトロノームテンポ設定範囲：	30～280BPM
内蔵スピーカー：	10W ウーファー x 2、20W ツィーター x 2
電源：	電源アダプター（付属：DC12V、2A、センター+）、単 1 乾電池 6 本（別売）
サイズ：	約 1283 x 291 x 87mm（W x D x H）
重量：	約 7.1kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

商標及びライセンス

Alesis は、InMusic Brands, Inc., の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名、商標や登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

alesis.jp